



IBCLC® 資格試験キャンセル/受験取り下げ時のポリシー

IBCLC® Examination Withdrawal/Cancellation Policy (Japanese)

IBCLC® 試験の受験取り下げや、IBCLC 資格試験の予約をキャンセルする場合は、一部の払い戻しが可能な規定の締め切りまでに、文書にて IBLCE に知らせる必要があります。支払済み受験料の一部払い戻しを受けるには、受験の取り下げあるいはキャンセルする旨の文書を郵便、Email もしくは FAX にて締め切り日までに IBLCE に届くように送付しなければなりません。支払済み受験料の一部払い戻しに関する詳細は、受験志願者インフォメーションガイド (Candidate Information Guide)、または認定更新ガイド (Recertification Guide) をご参照ください。受験者が死亡もしくは末期・終末期の病気を患った場合は、試験料は全額返金いたします。COVID-19 の世界的流行に伴い、2021 年、IBLCE は特別な事情を文書で提出することで全額返金を受ける選択肢を用意しました。2021 年受験者が利用できる [選択肢](#) についての詳細は、IBLCE COVID-19 リソースセンターをご覧ください。

規定の締め切り日を過ぎて IBLCE の受験の取り下げやキャンセルを行なう場合は、受験料の一部払い戻しはできません。特別な事情により、受験料を次回に繰り越したい場合は、その特別な事情を文書にて提出している場合に限り考慮されます。特別な事情とは、受験者もしくは近親の深刻な病気や重傷、近親の死亡時、不可避の天災時、現行軍務への変更発生時などに限定されます。2021 年における特別な事情には COVID-19 関連の懸念事項 (受験生本人、そのパートナーや配偶者の失業、受験生本人やその家族の COVID-19 関連の健康問題、COVID-19 のために公共の場所に行くことへの懸念など) も含まれます。

ただし、延長申請をした場合でも、必ずしもその要望が受け入れられるという保証はありません。延期申請が認められた場合は、1 年以内に 1 度のみ受験するこ

とが可能です。1年間を過ぎると、最新の必要条件を満たした上で、試験に再度出願する必要がありますのでご注意ください。

現在 IBCLC の方は、試験予約や試験予定の取り下げ・キャンセルによる影響を慎重に考慮する必要があります。再認定に至らなかった場合や、特別な事情により延長申請が受け付けられなかった場合、12月31日をもって資格を喪失することになります。特別な事情により、受験料の次回試験への繰り越しおよび認定時期の延長を希望する場合は、その特別な事情を文書にて提出し場合に限り考慮されます。

受験料の繰り越しおよび認定時期の1年延長を申請した場合でも、必ずしもその要望が受け入れられるという保証はありません。申請にあたっては、試験の出願と手数料の支払いが出願締め切り日までに提出されている必要があり、かつ過去に15単位(L-CERPs)相当の継続教育が終了していることを示す書類と、特別な状況を実証する証拠書類が必要となります。受験料の繰り越しおよび資格認定時期の延長が認められた場合、認定維持のために、翌年のIBCLCの試験に合格する必要があります(継続教育単位(CERPs)による翌年の認定更新は認められません)。

COVID-19の世界的流行の観点から、IBLCEは2021年にこれらのポリシーを変更し、最長2年連続の受験料の繰り越し、およびIBCLCに対する1年毎最長2年連続の認定延長(各申請に前年に取得したL-CERP15単位の証明が必要)を認めています。2021年の選択肢に関する更新情報は、IBLCE COVID-19リソースセンターでご確認ください。